

浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表  
(平成23年2月分)

ご協力ありがとうございました。平成23年2月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 166社 回答 155社 回答率 93.4%

調査項目	前 月 比						前 年 同 月 比					
	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計
売上数量	23社 15.0% (7.2)	36社 23.5% (18.3)	55社 35.9% (39.9)	27社 17.6% (17.6)	12社 7.8% (17.0)	153社	32社 21.3% (20.4)	36社 24.0% (26.5)	46社 30.7% (30.6)	17社 11.3% (12.2)	19社 12.7% (10.2)	150社
売上高	22社 14.3% (9.2)	42社 27.3% (22.2)	46社 29.9% (38.6)	31社 20.1% (15.0)	13社 8.4% (15.0)	154社	37社 24.5% (23.0)	36社 23.8% (29.1)	43社 28.5% (28.4)	21社 13.9% (14.2)	14社 9.3% (5.4)	151社
在庫数量	10社 6.7% (7.4)	28社 18.7% (14.9)	72社 48.0% (55.4)	34社 22.7% (19.6)	6社 4.0% (2.7)	150社	12社 8.4% (12.1)	22社 15.4% (16.3)	66社 46.2% (41.1)	26社 18.2% (20.6)	17社 11.9% (9.9)	143社
販売単価	0社 0.0% (3.4)	40社 26.5% (29.3)	104社 68.9% (61.2)	6社 4.0% (4.8)	1社 0.7% (1.4)	151社	26社 17.9% (11.3)	43社 29.7% (28.2)	55社 37.9% (45.8)	13社 9.0% (11.3)	8社 5.5% (3.5)	145社
収益状況 (粗利)	11社 7.1% (7.9)	33社 21.4% (17.2)	75社 48.7% (52.3)	27社 17.5% (12.6)	8社 5.2% (9.9)	154社	21社 14.2% (16.4)	37社 25.0% (26.7)	52社 35.1% (35.6)	23社 15.5% (13.0)	15社 10.1% (8.2)	148社
稼働率 (生産・加工設備)	6社 4.9% (3.3)	20社 16.3% (19.2)	63社 51.2% (50.8)	28社 22.8% (15.8)	6社 4.9% (10.8)	123社	11社 9.1% (13.0)	28社 23.1% (23.5)	52社 43.0% (40.0)	20社 16.5% (17.4)	10社 8.3% (6.1)	121社
入出庫の トラック台数	6社 4.1% (3.5)	22社 15.0% (14.0)	81社 55.1% (55.9)	30社 20.4% (16.8)	8社 5.4% (9.8)	147社	12社 8.6% (12.3)	30社 21.4% (21.7)	63社 45.0% (44.2)	23社 16.4% (16.7)	12社 8.6% (5.1)	140社
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	3社 2.0% (1.4)	16社 10.8% (8.2)	62社 41.9% (45.9)	29社 19.6% (17.8)	38社 25.7% (26.7)	148社	2社 1.5% (0.0)	17社 12.5% (10.7)	75社 55.1% (66.4)	30社 22.1% (18.6)	12社 8.8% (4.3)	136社
特記事項	今月も各品種の〔特記事項〕が数多く寄せられましたので、別送にてお知らせいたします											

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
 ②( )内の数字は前月のパーセントです  
 ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は特記事項欄に別途記載いたします  
 ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
 事務局 TEL：047-350-5311 FAX：047-350-5316

## 景況実感調査(2月) 特記事項

### <震災前のコメントです>

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の“生の声”です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

### 薄板・表面処理鋼板

- ① 高炉メーカーの2万円値上げ表明後、紐付、店売りを問わず高騰。
- ② 2月は稼働日数もほぼ前月並みながら、短納期、小ロットの仕事が多くあり、結果的には売上増となった。高炉、電炉と足並みが揃った原材料事情からか、表面処理鋼板、薄板も足下は在庫過剰気味な地合いを超えて、安値は消えている。戸建やリフォーム向け建材製品は、谷が深かった分、メーカーの生産規模縮小と在庫薄が重なり、かなりタイトな商品もあり、一部には納期優先から価格も踏ん張れるものもある。予算の成立等、国内不安要因も心配だが、民間の物件数は今年は昨年より期待が持てる。
- ③ 高炉メーカーの値上げ発表もあり、各需要家ごとに値上げへの理解はされているが、製品価格への転嫁が難しい状況で、強引に値上げすれば客先の内容が悪くなる可能性があり、各社値上げには慎重になっている。3月は、仲間、特約店、CC間での仮需はあると思われるが、需要があつての仮需ではない。
- ④ 材料の先高感から前倒し手配気味の需要増が見られ、月後半から販売増となり、反動が危惧される。一方、一部鋼種には入手困難なものも出始め、必要量確保に奔走する局面もおこりつつある。
- ⑤ メーカー値上げが2~3万円で出揃ったことで、2月は後半に仲間筋で仮需が見られた。ただし、需要面に盛り上がりがなく、市況はとくに変わっていない。当面は陥没価格の是正を急ぎ、新価格材の入荷に備えたい。この上げ幅を転嫁できるか不安だ。更なる在庫の削減が必要。
- ⑥ 3月決算まで残り1ヶ月となったが、何とか利益確保で終了できそうだ。値上げムードである4月以降だが景気はどうなることやら。
- ⑦ 2月の前半は、1月の反動で荷動きも不振であったが、メーカー2万円値上げのアナウンスで後は日割りで大幅増となる。3月から各社値上げの唱えで、仕入れ環境は厳しくなるが、販価は容易に上げられず、苦しい商売が続くであろう。しかし、世界情勢が混沌としており、いつどうなるか分からないので、売り先を大切に、我慢のしどころであると思おう。
- ⑧ 年度末ということもあり、母材の売り込みがある。仮需は思っていたほどない。需要家の動きは堅調。ホンダは新年度より一部車種の生産中止があるとの噂がある。売れ筋も5月は減速する。

### 中板

- ① 2月の販売数量は、前月比横ばい推移で終わる。前年同月はメーカー値上げにより旺盛な仮需があつたが、今回は同じ局面ではあるが、仮需がほとんど見受けられず、各得意先は慎重に購入しているのが現状。市況は確実に上昇しているが、高炉メーカーの4月からの大幅値上げを考えると、値上げ速度が遅い感じがする。いずれに

しても、高炉と電炉の原料コストの価格差が大きく、今後の荷繰り不安要素が大きく、慎重に取り組む必要があると考えている。需要の回復が期待出来ない中、流通はメーカーの大幅値上げと得意先の抵抗の間に入り、厳しい局面が今後訪れると推測する。

- ② メーカー値上げにもかかわらず2月中旬頃から荷動き鈍化。年度末の駆け込みが少なく、新年度も期待薄。コイルセンター、特約店は11月、12月の申込み分が入荷し、在庫増になっていることで、ユーザーも含め在庫積み増しに消極的になっているようだ。

## 厚板

- ① 当月は先月と同様に年度末に向けた橋梁材と土木関連が集中して高い山積みになる予定であったが、一部工程の繰り延べと製品の出荷保留により、当初予定より大幅に数量が減少した。その分来月は増加する予定。ただし、新年度山積みはファブの手持ち工事も少なく、現在実施されている本年度の入札に期待が寄せられている。高炉メーカーの厚板の値上げ表明と1Qに予定されている一部の厚板ミルの長期間の定修がタイト感に拍車をかけており、価格的には先高感はあるが、建設関連の需要低迷により動きは活況ではない。

## 一般開張鋼

- ① 前月比で営業日数1日増なるも、売上は微増。収益状況は横這いであった。昨年10月以降、巡航速度に回復して順調なるも、今月10日より荷動きは悪化して月末に至る。原因は原料由来の急激な値上がり、4ヶ月継続した契機の息切れ、建築関係の信用不安、原油産出国の政治的混沌であるが、いずれも早期決着を願い、当面をしのぐしかない。
- ② 浦安鉄鋼団地の組合で、もう少し情報交換をして、世界で戦える鉄鋼団地組合にしましょう。

## HI形鋼

- ① メーカーの販売価格は上昇しているが、国内需要が盛り上がりず、1月末から丁重な動きが続いている。値上がり玉も入荷しているので、市況は一服状態だが、ここは踏ん張るしかない。
- ② 市況の先高感による仮需の反動により、1月の後半から引合いが落ち込んだ。それにつれ、市況は頭打ちとなってきた。しかし、メーカーの販価下げは考えられず、むしろ高炉メーカーは大幅な値上げを行うであろう。今の需要環境から見れば、販売増は望めず、厳しい局面になる。市況上昇には在庫削減が必要であろう。

## 異形棒鋼

- ① 2月も引き続き、メーカーは強気。相場も堅調。出荷も順調。

## 鋼管

- ① 荷動きに変化なし。低レベル横這い。前年同月比では改善している。

## 構造用鋼

- ① 自動車、建設機械関連は、引き続き堅調な動きとなっているが、店売りについては、弱含みで推移している。原料価格等の高騰による各メーカーの値上げ発表により、先高感が強まっているものの、先行きの不透明感もあり、再販価格の転嫁は難しい局面である。
- ② 引き続き、自動車、建機関連は堅調であるが、その他店売り、小口ユーザー向けなどは、国内需要の手名を受け温度差がある。高炉メーカーの値上げ発表とスクラッ

プ価格の上昇により、電炉メーカーが値上げすると、市況に変化がありそう。

## その他

### <軽天材>

- ① 需要は相変わらず少ない状況であり、競合各社の取り合いが激化の一途をたどっている。メーカーからの素材は大幅値上げが打診されている中ではあるが、転稼は難航。売値の下がる中で、仕入れ値が上がるという最悪の状況へと、今まさに突入しようとしている。

### <曲げ加工>

- ① 前半は量的なものもあり、やや良好だったが、後半は下落ぎみで、やや増加といったところ。現時点では急激な増加あり、下落ありで横這いか。今後の景況感については、まだ予測がつかない。

### <スクラップ>

- ① 2月中旬以降、東鉄の値上げあり。一方、輸出は停滞。売りも買いも活発な動きなく、静かだった。

### <金属表面処理加工>

- ① 2月は紐付、物件物とも計画通り。スポットも1月同様、引合い受注とも活発であったが、若干の処理減となる。3月は物件物で付加価値の高い加工があり、平均単価アップ。また、紐付材が高位安定していることから、高操業が維持できそうである。原油価格高騰により、連動して塗料の仕入れ価格が高騰中。その他購入品も今後値上がりが見られ、状況を見ながら加工費への転稼を検討予定。